

「関西広域産業ビジョン」：2012年3月策定。2019年3月改訂。

【2023年度改訂のポイント】

- ① 社会経済情勢の変化等を踏まえた将来像、目標設定（検証、点検）
- ② 将来像、目標達成に向けたアプローチの整理
- ③ 2025年大阪・関西万博のインパクトを活用した成長シナリオ（アイデア）の共有
- ④ 関西広域連合（広域産業振興局）の果たす役割の明確化

① 将来像、目標

ターゲットイヤーは2040年度。コロナ禍やウクライナ情勢等による影響は小さくないものの、2025年大阪・関西万博を機に生まれるチャンスを活かし、関西の成長・飛躍（産業振興）をめざす。これをコアメッセージとするため、将来像、目標の根幹は変更なし

将来像

「世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西」、「産業を支える多様な人材が活躍する関西」

数値目標

関西(広域経済圏)の経済、産業の国内シェアを25%、GRP額を約150兆円

② 将来像、目標達成に向けたアプローチ

「将来像、目標」達成に向け、社会経済情勢の変化等を踏まえ、3つの視点から「めざす姿」とその実現をめざす「関西チャレンジ」を設定

- <1>新産業の創出・確立 関西チャレンジ① 強みで貢献：世界共通の課題解決に貢献する、関西の代名詞となりうる産業の確立
<2>産業転換と深化 関西チャレンジ② 強みを活用：現状維持を超え、高付加価値化（新展開、深化）による持続的成長
<3>産業基盤の強化 関西チャレンジ③ 強みを発揮：競争力強化と魅力向上による成長の好循環を通じた、強みの脈々たる発揮

③ 万博インパクトを活用した成長シナリオ

万博をいかに関西の産業振興につなげていくか、アイデアを提示。万博のテーマ、コンセプトと親和性の高い、ライフサイエンス・ヘルスケア、グリーン、スタートアップに、シンボリックなプロジェクト、さらには、万博インパクトを関西域内へ波及させていく取組みについて整理（予定）

④ 関西広域連合（広域産業振興局）の役割

限られたリソースで効率的、効果的な取組みを実施するため、連合の存在意義に照らし、4つの価値（バリュー）を明確化

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 〔1〕スケールメリット（規模の経済、域内最適化） | 〔2〕シナジー（協働、相乗、相互補完） |
| 〔3〕スピルオーバー（波及、浸透） | 〔4〕ダイバーシティ（多様性、地域特性） |